

越冬カシラダカ群中にみられる鳥

上村 孝¹

カシラダカは、ユーラシア大陸およびアリューシャン列島で広く繁殖し、日本には冬鳥として渡来、農耕地、低木林、林縁、川腹などと多様な環境に生息する。他のホオジロ科の鳥に比べて群れをつくる習性が強いことが知られており（高野 1981）、数羽から多いときには数百の単位で大きな群を形成する（中村・飯島 1977）。筆者は、1986年から1989年の冬期（11～3月）に、カシラダカの調査を行なった際、明らかにカシラダカの群れにまぎれこんだと思われる。他の種類の鳥を確認したのでここに報告する。

調査地は、千葉県北部の野田市と流山市の境に位置し、継続的に鳥の調査が行なわれている（上村・長島 1985）、東京理科大学の記念自然公園の敷地内である。中央に水路があり、周辺のヨシ原が刈り取られた平坦地を、一段高くなった雑木林（主にクヌギ・コナラ・スギからなる）が南北に隣接しており、カシラダカがもっとも好む環境と思われる（山岸ほか 1969）。調査期間中、1987年3月には、最高約400羽の群れが観察された。

カシラダカ群中で観察された鳥の記録を表1に示した。アトリの記録2例（1987年2月8日と3月4日）は、ヨシ原の焼きあとで採食するカシラダカの大群中で、早朝から夕刻まで観察された。カシラダカは警戒すると近くの木の枝に飛び上がり、さらに遠くへ飛び去るといった特有の行動様式があるが（中村 1973）、2例のアトリもまったく行動をともにしていた。この2羽は、体色などから判断して同一個体ではないと考えられる。1986年11月から1988年3月の期間、公園内のアトリの記録はこの2例のみであり、また、1988年11月から1989年3月にかけては多数アトリの記録があるが、上述のような観察例はなかった。

クロジ（1987年2月19日）はスギ林の中で観察された。カシラダカは、日の出時からしばらくは大群で採食し、以後、林内に分散していく傾向がみられたが、こうして分散した小群（30羽）の中での観察例である。午前11時頃から約40分間つばみ行動を繰り返しながら、下草の刈り取られたスギ林の林床を移動した。その後、いったん木の枝にとまったのち林外に逃げ去ったが、双眼鏡で確認できる範囲では、カシラダカの群れとともに同方向に高く飛んでいった。

ホオアカ（1988年2月14日）も、アトリと同様にヨシ原の焼きあとで観察された。朝7時30分頃から約1時間、カシラダカ群中で採食をともにしていた。しかし、カシラダカより警戒心が強く、数回にわたって近くの藪に飛び去っては群れにもどる行動がみられた。

表1. カシラダカ群中でみられた鳥の記録

Table 1. Records of birds observed with the flock of the Rustic Bunting *Emberiza rustica*.

Dates	Species	Flock size of <i>E. rustica</i>
Feb. 8. 1987	アトリ <i>Fringilla montifringilla</i> ♀1	280
Feb. 19. 1987	クロジ <i>Emberiza variabilis</i> ♀1	30
Mar. 4. 1987	アトリ <i>Fringilla montifringilla</i> ♀1	320
Feb. 14. 1988	ホオアカ <i>Emberiza fucata</i> ♂1	120

カシラダカが採食する場所には、スズメ、ツグミ、ホオジロ、アオジ、ビンズイといった種の鳥も同時にみられた。しかし、これらの種は、採食、警戒、逃避といった行動様式が、カシラダカの群れと明らかに異なっていた。

引用文献

- 中村登流. 1973. ホオジロ属の冬季分散状態の比較. 山階鳥研報 40: 139~159.
 中村登流・飯島一良. 1977. 南九州におけるホオジロ属越冬状況. 山階鳥研報 48: 1~19.
 高野伸二. 1981. 日本産鳥類図鑑. 東海大学出版会, 東京.
 上村孝・長島秀行. 1985. 東京理科大学記念自然公園の生態 I. 野鳥. 理学専攻雑誌 6 (1): 9~15.
 山岸哲・中村登流・須山才二・飯島一良・牛山英彦・香川敏明. 1969. ホオジロ属 5 種の越冬生態の比較研究. 山階鳥研報 32: 585~601.

1. 〒 278 千葉県野田市山崎 東京理科大学応用生物科学科

Records of some species in a flock of the Rustic Bunting *Emberiza rustica*

Takashi Uemura¹

Three species were observed in the winter flocks of the Rustic Bunting *Emberiza rustica* at the Memorial National Park of the Science University of Tokyo, Chiba Prefecture. They were the Brambling *Fringilla montifringilla*, the Grey Bunting *Emberiza variabilis*, and the Grey-headed Bunting *Emberiza fucata*. These birds were closely associated with the flocks of Rustic Buntings.

1. Department of Applied Biological Science, Science University of Tokyo, Noda, Chiba 278, Japan.

1989年11月15日受理